

国労東北自動車支部

東日本自動車協議会 台

第30回

定期委員会開催 仙

2月14日(水)～15日(木)松島町・ホテル大観荘において、第30回東日本自動車協議会定期委員会が開催され、各地から27名が参加。職場の問題点や取り組みなど活発な討論を行った。また、(元)浪江地区労議長の 大倉氏による労働講座を開催し共に頑張る決意を確認し合った。

恒例により唐澤事務長の司会と議長を兼ねて議事が進められ、東日本自動車協議会を代表して北山議長より「東日本自協第30回という節目の委員会となっている。国鉄分割・民営化、自動車分離攻撃の中、人として正しい道を歯をくいしばりながら闘ってきた。人員不足、高齢化など問題は山積しているが自動車協議会一体となって取り組んでいこう。」と挨拶。

エリア本部情勢報告

続いて東日本本部大沼委員長より①2018年春闘はベア12000円を要求し、職場・他労組一体で運動を作って行こう。②首都圏で重大事故が発生している一方で2000人ぐらい要員が不足している。会社に改善を求めていく。

③組織の拡大について他労組の混乱もあるが、様々なグッズを活用しながら運動を進めていく。④憲法改正に向けた動きが活発となっている中、3000万人署名成功に向けてしっかり取り組んでいこう。と4点にわたり提起された。

来年は新しい仲間を!

各委員から職場状況報告後、唐澤事務局長が「失敗も成功もあるかもしれないが、新しい仲間を連れて来れるよう今日から取り組ん

2017年度新役員

議長	丸山 淳一	【中央道】
副議長	渡 一夫	【東京】
〃	岩崎 宏	【仙台】
事務長	兜森 秀昭	【秋田】

発 責
兜森秀昭
編 責
教 宣 部
NO,133
2018.3.6

国労加入
で職場を
変えよう

「でいこう。」と集約し、丸山新議長の団結ガンバロウで終了した。
各委員からの主な発言

●要員不足で出勤をもらい若い社員は休日出勤が4～5日、エルダー社員も年休が取りづらくなっている。休みの一日は寝ている実態で、転勤なったら辞めると言っている。
●車両の老朽化で故障が多く、年間数百万円の修繕費と聞いている。
●週末は日勤者含めダブル乗務をしている実態で、裏交番もあるという話もある。また、長距離便が運休になった時、本社運行本部と現場の意思疎通が不十分で12時間二人乗務(回送)後、客扱い無しで支店に戻った。常にメモし、点検摘発が大事。

「東京電力福島第一原発事故と避難者の現状」について

(元)浪江地区労働組合協議会議長

大倉 満

あれから2533日、早いもので7年目を迎えようとしている。当時、泊まり勤務で地震後、旅客対応や駅舎の後片付けに追われ、誰も応援が来ず大変だった。23時30頃ようやく会社から電話が来たが「翌日も勤務」と言われ帰宅した。通常15分の所2時間かかり深夜1時半に着いた。余震がひどいため4tトラックで家族と休んだ。原発事故後、浪江町はバスをチャーターしたが某会社は汚染でバスが使えなくなると引き返したところもある。現在、自宅はハクビシン・アライグマに荒らされ解体しかない状況だ。1月末現在で浪江町民466人、全体の2.8%ぐらいしか戻っていない。私自身介護4の母もあり昨年11月から仮設住宅から復興住宅に転居した。40キロ離れたところの営農事業や世話役活動しながら頑張っている。「ふるさとを取り戻す」ため今後も取り組んでいく。以上



「福島第一原発事故と避難者」元浪江地区労働組合協議会議長

「原発のない福島を!県民大集会」
3月17日(土) 12時～
檜葉町天神岬スポーツ公園